

## 第11回全日本少年春季軟式野球大会山口県決勝大会 大会要項

|      |  |
|------|--|
| 主催   | 山口県野球連盟                                |
| 主管   | 防府市野球連盟                                |
| 会期   | 令和元年8月24日(土)・25(日) 予備日8月31日(土)         |
| 会場   | 防府市スポーツセンター野球場・Dグラウンド TEL 0835-23-9851 |
| 連絡先  | 防府市野球連盟 石光 徹 携帯 090-2095-1432          |
| 適用規則 | 2018年度公認野球規則及び特別規則を適用する。               |
| 大会規律 | 不正出場その他規律違反に対しては、全軟連規定及び県野連内規により処理する。  |

- その他の
- (1) 正式試合 7回戦 ゲームは7回戦であるが、暗黒、降雨などで7回までイニングが進まなくとも5回を終了すればゲームは成立する。ただし、健康維持を考慮し、5回終了時、以降、試合開始後2時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。
  - (2) その日の第一試合に出場するチームは試合開始時刻の30分前までに打順表(大会参加申込書に記載された者の全員を記入したもの)を5部、監督・主将が大会本部に提出し、球審立ち会いのもとに攻守を決定し、直ちにシートノックに入る。
  - (3) 第二試合以降は、前の試合の4回終了時まで、打順表を大会本部に提出し、攻守を決定する。
  - (4) 試合開始予定時刻に関係なく、前の試合が終了次第シートノックに入り試合を開始を開始する。試合開始予定時刻になっても会場に到着しないチームは、棄権として処理する。
  - (5) 参加申込書提出後は選手の変更、背番号の変更は認めない。ただし、抹消は可。
  - (6) ベンチは若番を一塁とする。
  - (7) シートノックは5分間とする。天候その他、主管支部の判断により、シートノックを行わずに試合を開始することもある。シートノック時の補助員はヘルメットを着用すること。コーチ28番・29番も認める。
  - (8) ファールボール球の処理はそれぞれのベンチ側とし、捕手の後ろは攻撃側で拾う。
  - (9) 試合に出場する捕手は、連盟公認の、プロテクター、レガーズ、捕手用ヘルメット・マスク(スロートガード付)及びファウルカップを着用すること。
  - (10) 打者、次打者、走者、ベースコーチは必ず連盟公認のヘルメットを着用すること。
  - (11) チームの責任者は競技者必携を常時携帯のこと。
  - (12) 得点差によるコールドゲームは5回以降7点差とする。
  - (13) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日7イニングまでとする。ただし、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日9イニングまで投げることができる。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、3分の1回(アウト1つ)未満の場合であっても1イニング投球したものと数える。
  - (14) 7回を完了して同点の場合は、引き続き特別延長戦を行い、9回を完了しても決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。決勝戦の場合は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式(特別延長戦)を続行する。
  - (15) 大会に出場するチームは、試合に出場出来る選手10名以上20名以下で構成のこと。
  - (16) ロージンバックは、チームにて準備のこと。
  - (17) 本大会の大会使用球は、M号(ケンコー)とする。

※練習会場はありませんが、アップ程度であればAグラウンドでできます。

※チームには送付済です

# 第11回全日本少年春季軟式野球大会 山口県決勝大会

会 期 令和元年8月24日(土)・25日(日)

会 場 防府市スポーツセンター野球場 携帯 090-2095-1432(石光)

※会場 A: 防府市スポーツセンター野球場

B: 防府市スポーツセンターDグラウンド

